

法務大臣からのメッセージ

SDGsの達成に向けて

Towards the Achievement of the SDGs

来年3月、国立京都国際会館で、第14回国連犯罪防止刑事司法会議、通称「京都コンGRES」が開催されます。

コンGRESは、5年に1度開催される犯罪防止・刑事司法分野における国連最大の会議です。

日本で開催されるのは、1970年に同じく京都で開かれた第4回以来、約50年ぶり・2回目となります。

京都コンGRESのテーマは、「SDGsの達成に向けた犯罪防止・刑事司法及び法の支配の推進」です。

SDGsは、「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」の略称で、世界を変えるための17の目標です。

私は、一度目に法務大臣を務めた時、日本はもちろんのこと、世界中で法の支配・公正なルールに基づいた社会を実現するため、その起爆剤として、 kongress をホストすることを決断いたしました。

それから5年間、kongress のフラッグを常に掲げながら、法の支配の浸透、公正なルールに基づいた社会の実現を目指して、2020年を「司法外交元年」と位置付け、「司法外交」を推進してまいりました。

そして、本番を目前に控えた2020年、京都kongress は、コロナ禍により約1年の延期を余儀なくされました。

しかし、京都kongress は、この延期により、さらにその重要性を増したと考えています。

コロナ禍によってより弱い立場にある人々の命と生活が脅かされています。

しかし、我々は、その事実に向けているでしょ

うか。

自分や自国のことばかりに捕らわれてはいないで
しょうか。

このような時だからこそ、SDGsに掲げられた
「誰一人取り残さない」社会を実現するために、我々
はしっかりと歩みを進めていかなければなりません。

来年3月の京都 कांग्रेसでは、法の支配、公正な
ルールに基づく社会を実現するために、私たちがどの
ように協力し合うべきなのか、SDGsを達成するた
めに、司法はどのような役割を果たすべきなのかにつ
いてしっかりと議論してまいります。

京都 कांग्रेसの約1週間前には、「京都 कांग्रेस
・ユースフォーラム」を開催します。

ユースフォーラムでは、世界各国の若者が「安全・
安心な社会の実現へ～SDGs達成に向けた私たちの
取組～」をテーマに議論します。

SDGsがターゲットイヤーとする2030年以

降の社会を担うのは、正にユース世代です。

ユースには、これまでの常識にとらわれない、自由で純粋な想いがあります。

私は、そのユースの想いがもつ「誰一人取り残さない社会」の実現へと私たちを導く、希望とパワーに大きな期待を寄せています。

ユースの声に真摯に耳を傾け、ユースと共にSDGs達成に向けて取り組んでまいりましょう。

ユースフォーラムは、2030年までにSDGsを達成するための取組を加速すべきとされた「行動の10年（Decade of Action）」の幕開けにふさわしい会議と言えましょう。

開催国である日本国の法務大臣として、京都コンGRESとユースフォーラムの成功に向けて、全力で取り組んでまいります。